



生駒市立鹿ノ台小学校

鹿小だより



鹿小ホームページ

令和5年 9月6日
第12号

令和5年度全国学力・学習状況調査結果のお知らせ（1）

今年4月に実施された全国学力・学習状況調査の結果が7月末に発表されました。本校と奈良県、全国の



平均との差は表(1)のとおりです。学力調査は、教科の平均点の上下で一喜一憂するためのものではありません。

今年度の結果を見ながら、子どもたち

につけたい学力が何で、本校はどんなところが苦手なのかを考え、今後の指導に活かしていきたいと思います。

今回は、国語編です。

【国語】

国語は全体的に全国平均、奈良県平均を下回りました。

すべての問題に出題趣旨や観点、出題形式が異なります。本校の児童は、どんな出題形式や観点が苦手だったのでしょう。表(2)は、国語の中でも本校が比較的点数が低い（全国平均との差が大きめ）ものを抽出してまとめたものです。

表(1)	本校	奈良	全国
国語	64	65	67.2
算数	66	62	62.5

表(2)

		鹿小	奈良県	全国	全国との差
国語全体		64	65	67.2	(▲3.2)
観点	情報の扱い方	57.9	61.9	63.4	(▲5.5)
	書くこと	18.9	24.3	26.7	(▲7.8)
出題形式	選択式	70.4	71.7	73.6	(▲3.2)
	短答式	64.2	60.6	62.7	(+1.5)
	記述式	43.2	45.9	51.1	(▲7.9)

●「考えを書く」が苦手

一見して分かるのは、複数の情報を踏まえたうえで自分の考えを述べたり自分の立場で書いたりする記述問題が苦手な傾向にあることです。観点別の全国比で「話すこと・聞くこと」(▲5.6)、「読むこと」(▲2.1)に比べても「書くこと」の観点が極端に低く、「考えを書く」弱さが際立っていると言えるでしょう。



記述式で自分の考え等を書く問題は、「情報の扱い方」に関する知識と技能が必要とされています。提示された2つ以上の資料を読み取り、それらから分かることを記述する力と資料をもとに考えた解決策や意見を書く力が求められているのですが、解答類型を見ると、1つの資料しか取り上げていなかったり、自分の考えを書けていなかったりする誤答が多くありました。

生駒市全体の「全国学力・学習状況調査」の結果分析

https://www.city.ikoma.lg.jp/cmsfiles/contents/0000004/4287/230828_gakuchokekka.pdf

「すぐーる」配信(8/31)の教育長だよりNo.5 内にリンクがあります。

●「無回答」の多さ

特に目立ったのが、「無回答」(10.5%)と「条件にあっていない回答」(12.6%)です。両方合わせて23.1%(全国14.9%)を占める問題があり、全体として「無回答」率が全国と比べても高い傾向にありました。のちに実施した「児童質問紙調査」で、「問題を解答する時間が十分でしたか」の質問について、「十分だった」「ちょうどよかった」が50%で昨年度と変わらないのに、「やや足りなかった」「全く足りなかった」が36.5%(昨年度46.1%)で、「無回答」が13.5%(昨3.9)もありました。これはあくまでも想像の域を出ませんが、じっくりと取り組む子が多かったり、何ページにも及ぶ問題形式に慣れていなかったりして、時間が足りないためにしっかり解答(回答:児童質問紙調査の「無回答」が多いことから)ができない子が多かったのかもしれませんが、本当に苦手なのか、もう一度、記述式問題を解き直してみることも必要だと思います。



●資料を基に考える学習活動の充実

一方で、指導者の立場からこれらの結果を見つめ直すと、国語科において、資料を基に考える学習活動がどれだけ充実できているか、不足してはいないかということが気になってきます。特に、資料から分かることを簡潔にまとめ、それをもとに自分の考えを述べたり書いたりする機会を増やす必要があると言えそうです。全国学力・学習状況調査では、点数を上げるために過去問を解くといったテストのための対策はすべきではありません。



しかし、今年正答率が低かった問題や今年度の本校児童が苦手な傾向にある問題を授業で取り上げることで、今、どんな力が必要なのかを教員と児童が認識し合うことに繋がるのではないかと考えます。少なくとも、こうした問題を出しているのは、こうした課題を解決する力をつけてほしいと考えているからなのではないでしょうか。

新しい先生が着任しました

9月1日付けで、新しい先生が着任しました。

3、4年生の体育の授業を担当します。

ももとは、中学校で30年以上保健体育の教員として勤め、昨年度から今年の8月31日までは、檀原の小学校で全学年の体育を担当していました。

理科を専科制にして理科教育の充実を目指して始まった今年度でしたが、病気特休中の3、4年理科担当の代わりに先生がなかなか見つからないままでした。理科から体育に変更になりましたが、より専門的な体育の学習ができると、子どもたちも学校としても楽しみにしています。……それでも、現在、1名欠員のままです。



9月1日から、教育実習が始まりました(9/28まで)。将来先生になりたいと夢見て勉学に励んでいる大学生3人です。主に2年、4年、5年生の学級に入って実習を行います。

9月1日は、体育専科の先生と合わせて4名の先生が増えたことになり、一気に、にぎやかで、華やかで、活気あふれる雰囲気になりました。